

金沢くらしの博物館

企画展

金沢和傘と 着物

会期

平成29年

4月15日^(土)

7月30日^(日)

会期中無休



男児用和傘



男児用着物



女兒用和傘



女兒用着物

金沢和傘と着物

伝統工芸「金沢和傘」は、雨や雪が多い金沢の気候に耐えるように傘骨が太く、急な勾配をもつ。その一方で内側に色鮮やかな「千鳥掛け」を施し、魅力的な傘でもある。

そんな金沢和傘が日常的に使われたのは、着物が普段着だった時代でした。「和傘をさす」＝「外出する」であり、おしゃれな着物が選ばれました。今回は和傘に似合う着物をテーマとして、さまざまな着物を紹介します。

金沢和傘の「千鳥掛け」

主な展示品 ※和傘は保存のため少しずつ入れ替えて展示します。

金沢和傘制作用具、番傘、蛇の目傘、子供用傘、男性・女性着物、男児・女児着物など

関連イベント案内



「金沢和傘制作実演」

4月29日(土) 9時半～17時

実演:山田ひろみ氏

金沢和傘がどのように作られているか、見てみませんか?

5/13(土)・6/24(土)

7/21(金)・29(土)・30(日)

も開催予定!!

「着物で五月人形と記念撮影」

5月3日(水)～5日(金) 9時半～16時(予約制)

対象年齢:0歳～小学生

参加費:無料(カメラ持参、高校生以下は観覧料無料)

昭和レトロな着物を着て、五月人形と記念撮影しよう!



「親子で着物と和傘体験」

6月17日(土)・18日(日) 9時半～16時(予約制)

参加費:無料(カメラ持参、高校生以下は観覧料無料)

親子で着物を楽しみませんか?

金沢くらしの博物館 金沢市飛梅町3-31 (紫錦台中学校敷地内)

TEL&FAX(076)222-5740

<http://www.kanazawa-museum.jp/minzoku/>



■開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■観覧料 一般300円、団体(20名以上)250円
65歳以上・障害者手帳をお持ちの方およびその介護人200円(祝日無料)
高校生以下無料

■アクセス 金沢駅兼六園口7番のりばより11・12・16系統北鉄バス「石引町」下車、徒歩1分
ふらっとバス菊川ルート「飛梅町」下車、徒歩3分
駐車場あり(紫錦台中学校正門入って左手奥)

